



校長室だより 笑顔



さくらだいこくん

今年度のテーマ **聴き合う**

◆ さくら児童会スローガン: たくましく 笑顔いっぱい あかいつ子 ◆

～身に付いた力を発揮して～ **自分で決めて 挑む・やり抜く**

もうすぐ夏休みです。4月の始業式、入学式から子どもたちが頑張ってきた様子については、これまでの各種通信でお伝えしてきた通りです。保護者の皆様のご協力に感謝いたします。

昨年度から、東松島市の小中学校は2学期制となりました。夏休みは1学期の一部になり、9月後半のまとめや振り返りの時期を経て2学期の学習につなげていきます。つまり、夏休みは一人一人の興味関心を生かし、これまでの学びを深めたり、広げたり、定着・強化を図ったりする絶好の機会になるということです。

例えば…国語で学習した物語の作者の本をもっと読んで、読書記録を書いてみる。

国語の教科書を見ながら、学年で習う漢字を先取り学習する。(これは効果的です)

タブレットドリル(算数)で下学年の内容から復習する。(算数の達人になれます)

家庭科で学習した調理を生かして、朝ごはんづくりにチャレンジする。(家の人も助かります)

毎日60分以上の運動(外遊び)を続けることにチャレンジする。(体も脳も鍛えられます)

毎日英語で家の人にあいさつする「Good morning!」「How are you?」(1年生もできます)

など、一人一人が工夫できます。各学年では、夏休みを前に学習について指導しています。もちろん、「だめこん(デジタルメディア・コントロール)」や「さきがけあいさつ」などを通して生活を整えることも大切です。

これまで取り組んで身に付けた力を発揮して、自分で決めてチャレンジし、やり抜くことで、一人一人の夏休みが充実し、成長することができます。ぜひ、子どもたちのチャレンジや計画の相談に乗ってあげてください。そして、やり抜くことができるよう見守り、励ましてあげてください。



東松島ゴールを目指して メディア使用1時間以内、就寝9時・9時30分

今年も、デジタルメディアと自分たちの生活のかかわりについて見直し、自律(自らコントロールする)した生活を目指していくために小中学生が話し合う「子ども未来サミット」が開かれます。日頃の「だめこん」への取組や、6月の「だめこんウィーク」への取組を生かし、自分たちで自分たちの生活をよりよくしていこうという取組です。

昨年度は、以下のような内容の講話を伺いました。

◎生活習慣は脳の成長にダイレクトに結び付く。

よく寝ること、しっかり食べることで脳が発達する(特に朝食で米飯を摂るとよい)。

楽器を弾くことや勉強をすること、読書も有効。

◎良好な親子関係、親が子どもをしっかりほめると脳はよりよく発達する。

◎会話をすることは、共感性(相手の気持ちを理解する力)を高める。

相手の気持ちをしぐさや表情等から読み取るので、SNSよりはるかにたくさんの情報を処理する。

◎デジタルメディア・コントロールにより空いた時間で、自然体験や読書をするとうよい。

自然体験は自尊感情や外向性を伸ばすのに有効、読書は学力を伸ばすのに有効。

など



7月18日に市内の6年生全員が東北大学の榊先生の講話を聴きます。これをもとに「だめこん・東松島ゴール」を目指す取組はどうあればよいか5、6年生で話し合いを持ち、サミットでは6年生の代表(角張有さん、亀川田音我さん、横山明日香さん、小野春翔さん)が他校の代表と意見を交わしてきます。代表児童をはじめ全校児童がデジタルメディアをコントロールすること、その時間をどう使うかを「自分ごと」として考え行動に移していくことで、一人一人が自分の生活を自分で整える力を育んでほしいと願っています。

めざせ運動1日60分以上！ 徒歩通学と外遊びのすすめ

6月に子どもたちは「体力・運動能力調査」に取り組みました。コロナ禍で実施してこなかった「上体起こし」や「シャトルラン」などを含め、全8種目に挑戦しました。その結果の分析はまだ届きませんが、昨年度のデータを見ると、あかいつ子は、すべての学年で全国平均を上回っている種目がありました。いい傾向ですね。

今、子どもたちの体力向上の必要性が叫ばれています。体力がある子は集中力も高い傾向にあることや、握力と学力に相関関係があるということも言われています。**体力向上のために必要な運動時間は1日60分以上**（WHOでも言われている世界基準）です。

60分というとなかなか難しいようですが…おすすめは、**徒歩通学と外遊び**です。片道15分かけて登校する子であれば、往復で30分。休み時間の外遊び15分×2回で30分。合わせて60分達成！です。朝からいろいろな学年が集まってドッジボールをしたり、休み時間に鬼ごっこをしたりしているあかいつ子。南区の方からみんなで仲良く歩いて来る1年生の姿は微笑ましいです。**楽しく遊び、仲良く歩き、生活の中から自然と体力がつくことで「一生使える運動習慣」をつくりたい**ものです。

※この内容については、PTA バレーボールの準優勝の結果とからめて6月29日の朝会で子どもたちに話しました。夏休みも、熱中症に気を付けながら外遊びを楽しんでほしいです。

挑む・認め合う

5年生 松島宿泊学習・大曲小・南小との交流

7月4日から2泊3日の日程で5年生が宿泊学習を実施しました。今年度から「ふるさと東松島の自然に浸ろう」と松島自然の家に活動場所を移し、二中学区の小学校の交流も取り入れて実施しました。2校、3校合同での活動では、初めは緊張して表情が硬かった子どもたちですが、次第に打ち解け、最後は笑顔で「またね！」と声を掛け合う姿が見られました。

大人数の中で自分らしさを発揮することは簡単なことではありません。それにチャレンジしてやり遂げ、笑顔になった子どもたち。きっと、学校での高学年としての活動や、これから続いていく二中学区の小学生の交流でも力を発揮してくれると期待しています。



※感想の一部を紹介します。

☆宮戸島ウォークラリーで初めて大曲小の人たちに会いました。はじめはきんちょうしてあまり話すことができませんでした。でも、いっしょにどんどんミッションをクリアしていくにつれて、仲良くなってきてとても楽しかったです。新しい友だちもできていい思い出になりました。（柴田 紗季さん）

☆わたしが成長したと思えることは、人前で話すことができる自分になったことです。わたしはこれまで人前に出て話すことが苦手だったけれど、この3日間で慣れて、終わってみると少し得意になったと感じました。これからふだんの生活に生かしていきます。（志摩 星奈さん）

☆ウォークラリーで、はじめて大曲小のみんなと会ったときはきんちょうしたけれど、大曲小のみんなが声をかけてくれたので、楽しいことが多くなりました。この宿泊学習で、きんちょうしていても思い切ってやってみることもみんなで協力することを学びました。（山田 琉楓さん）

☆松島宿泊学習でわたしが気付いたことは、「みんなで協力し合って進めたら、どんなことでもできるとできる」ということです。いつもは少しふざける人もいて気付気づらかったけれど、みんなやさしい人なんだと気づき、みんなで協力するよさを感じました。（相澤 天音さん）